

生物学	1年 前期	講義2単位	担当教員名	高橋和吉
	卒選必 幼選必 保選必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ : 自然(動植物)と接することの大切さを知り、子ども達に豊かな体験遊びをさせる力を身につける ② 目標 ・生物学の意義及び豊かな自然の大切さについて理解する ・環境による動植物の種類や生育状況等の違いを理解する ・自然に親しみ、草木遊び等の体験遊びを身につける				
授業の概要 人間・他の生物と環境との様々な係わり合いを、身近に見られる動植物の採集・観察等を通して理解が深まるようにしたい。生物学の受講者である本学の保育科の学生は、幼稚園の教諭または保育所の保育士を志して入学してきている。したがって、生物とその生態などを広く探究すると共に、幼稚園・保育所等の教育現場の自然環境や動植物、生命等にも触れることで子ども達の指導に生かすことができるよう、指導展開を図りたい。				

授業計画

コマ(回)	項目	内容
1	生物学について	・生物学とは・生物学の重要性と今日的課題・講義の展望
2	生態系について	・生態系の中での物質循環・生物の多様性と物質循環
3	生物観察の方法	・動植物の観察の仕方・ハコベなどの観察をしながら観察の視点をとらえる
4	大学校地の生き物①	・校地に見られる植物の植生調査と観察
5	荒雄公園の生き物①	・公園に見られる植物の植生調査と観察(継続観察)
6	水路の生き物①	・水路に見られる生き物調査と観察(継続観察)
7	草木遊び①	・草木遊びの意義と遊びの種類・シロツメクサなどで遊ぶものをつくる
8	押し葉標本作り①	・押し葉標本の意義と押し葉標本の作り方・押し葉標本をつくる
9	大学校地の生き物②	・校地に見られる生き物調査と観察
10	荒雄公園の生き物②	・公園に見られる植物の植生調査と観察(継続観察)
11	水路の生き物②	・水路に見られる生き物調査と観察(継続観察)
12	草木遊び②	・クズ、ギシギシなどの葉を利用しての音出し遊びをする
13	押し葉標本作り②	・押し葉標本でしおりを作る(ラミネートを使用)
14	移り変わる自然	・自然界での生態遷移・人為的場所での遷移・温暖化
15	学習のまとめ	・これまでに学習してきた内容の確認とまとめ
定期試験	15コマ終了後に筆記試験を実施する。	
テキスト	自作資料等を使用するためテキストは使用しない。	
参考図書	使用しない。	
教員の評価方法	観察記録や作品等の提出物(10%)・学習への取り組み態度(20%)・テスト(70%)を総合的に判断	
準備学習等履修上の留意点	準備物は忘れずに持ってくる	